

平成20年度当初予算 主な新規要求事業一覧(教育委員会)

番号	事業名及び所管課	事業の概要
1	国体関連施設整備事業費 [スポーツ健康課]	<p>「ぎふ清流国体」の開催に向けた県有スポーツ施設の計画的な改修に着手</p> <p>対象施設 メモリアルセンター、グリーンスタジアム、岐阜アリーナ(いずれも国体競技会場)</p> <p>平成20年度事業内容 実施設計 平成21年度に着工する以下の工事に係る実施設計 施設基準への対応</p> <p><主なもの> 長良川競技場：9レーン化 補助競技場：400m化</p> <p>競技運営上必要な改修 <主なもの> 長良川競技場：電光掲示板更新 テニスプラザ：人工芝改修</p> <p>その他の改修 老朽化により国体開催までの改修が必要なもの</p>
2	飛び出せスーパー専門高校生推進事業費 [学校支援課]	<p>地域や産業界と連携した実践的、継続的な学習活動を行うことにより、地域産業に貢献できる人材育成システムを構築</p> <p>事業内容 実施校：県内4地域毎に4校を指定(計16校) 実施期間：2カ年 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定校において地域の企業関係者等とともに運営推進委員会を設置し、地域ニーズに応じた学習内容を決定 ・実践的な活動の中から新たな課題を発見、学習の深化 ・地域の企業関係者や中学生を対象に、初年に研究過程等の中間発表を行い、2年目は最終成果を発表 ・研究成果を学校ホームページ等で公表
3	スクールカウンセラー設置費 [学校支援課]	<p>中学1年生時に急増する不登校の減少と、小学校における教育相談体制の充実を図るため、臨床心理士資格を持つスクールカウンセラー(以下「SC」)を小学校へ新たに配置</p> <p>配置数及び予算額</p> <p>中学校 192校 / 192校(全校配置済み)</p> <p>【新】小学校 20校 / 386校(高出現率校に配置)</p> <p>小中連携による不登校児童生徒の減少を目指すため、一人のSCを同一校区に配置</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1校あたり4時間/週×年間35週(小学校は30週) ・児童生徒・保護者へのカウンセリング、教師の資質向上のための指導・助言等を行う
4	小学校生徒指導体制強化事業費 [学校支援課]	<p>低年齢化するいじめや暴力行為などの問題行動に対応するため、小学校8校を「生徒指導推進協力校」に指定し、小学校における生徒指導のあり方を実践的に研究</p> <p>指定校 県内6地区に8校、指定期間2カ年</p> <p>研究内容 臨床心理士や警察OB等の人材を活用しつつ、次の視点で問題行動への対応策を実践研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命の尊重、規範意識や倫理観の醸成のための教育活動のあり方 広域化・深刻化する問題行動の早期発見と早期対応のあり方 小中学校9カ年一貫して児童生徒を育てる生徒指導体制整備のあり方